|MapCall Standard 新潟版 について〔新旧座標変換〕

この度は、「MapCall Standard 新潟版」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、2002・2003・2004年度版「MapCall Standard」をお買い上げのユーザー様で、2005年度版以降の「MapCall Standard 新潟版」を買い替えされた場合におけるご利用の際の注意点、以前のバージョンとの変更点、データ移行作 業手順等を記載しております。

製品を使用になる前に必ずご確認ください。

■はじめに

「MapCall Standard」はパッケージ商品です。「MapCall Standard 2002~2005」のバージョンアップ用商品ではありません。

<u>本書は、MapCall Standard 新潟版のお買い上げのお客様を対象としたものです。</u>

また、本書内ではMapCall Standard 2005から2007 新潟版は Ver.2.0 <u>(以下「MapCall Standard 2.0」)</u>、MapCall Standard 2002から2004までを Ver.1.0 <u>(以下「MapCall Standard 1.0」)</u>、として説明します。

ndard 2.0(2.0 2.1)
())))))))

■「MapCall Standard 2.0」インストールについて

「<u>MapCall Standard 2.0」は同じPC内で「MapCall Standard 1.0」との共存ができません。</u>

<u>必ず「MapCall Standard 1.0」をアンインストールしてから、「MapCall Standard 2.0」のインストールを行ってください。</u> <u>また、データベース内のデータを「MapCall Standard 2.0」に移行させる場合、「MapCall Standard 1.0」をアンインストー</u> ルする前に、<エクスポート>で任意の場所に必ず保存をしておいてください。

■「MapCall Standard 1.0」から「MapCall Standard 2.0」に移行できるもの

「MapCall Standard 1.0」で作成したもの、保存したデータやファイルのうち「MapCall Standard 2.0」に移行できる、できないの一覧は以下の通りです。

移行できるもの(CSVエクスポート)	移行できないもの(エクスポート機能なし)
データベース内データ (※エクスポート後、新座標へ変換が必要になります)	地図データ、住所データ アノテーションファイル メモ機能で入力したデータ しおり機能で入力したデータ

■「MapCall Standard 2.0」変更点

「MapCall Standard 2.0」より、世界測地系(JGD2000)での緯度経度対応に変更になりました。

「MapCall Standard 1.0」をお使いののユーザー様の、データベース内のデータについては、日本測地系の旧座標で 表示となっておりますので、MapCall Standard 2.0ヘデータを移行する場合、座標系の変換を行う必要が生じます。

■「TKY2JGD」での変換対応

新旧座標変換は、国土地理院ホームページより、「TKY2JGD」「座標変換パラメータ」をダウンロードして行うことがで きます。

また、無償で配布されています。

国土地理院HP 便利なプログラム・データ http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/program.html

《座標変換方法概要》 1.旧バージョンの「MapCall Standard」データベース内データをエクスポート 2.エクスポートしたデータを加工(緯度、経度、IDの3項目) 3.「TKY2JGD」で座標変換 4.エクスポーとしたデータと座標変換したファイルを結合 5.「MapCall Standard 2.0」にインポート。座標値でジオコーディング

|新旧座標変換作業の流れ

■準備するもの

- 「MapCall Standard 1.0」よりエクスポートしたCSVファイル
 ※「MapCall Standard 1.0」はアンインストールをしてください。
 「TKY2JGD」
 - ※国土地理院ホームページより、「TKY2JGD」をダウンロードしてインストール

「座標変換パラメータ」をダウンロードして「TKY2JGD」フォルダ内に格納

•「MapCall Standard 2.0」

■作業の流れ

座標変換作業の工程・流れは以下のようになっております。



この作業は、プログラムのインストール/アンインストール、データのインポート/エクスポート、Excelの加工・置換など の編集等、作業上の技術が必要になります。 また、作業中のいかなるトラブルにつきましても、弊社は一切責任を負いません。 十分ご注意の上作業を行ってください。

「TKY2JGD」「座標変換パラメータファイル」ダウンロード方法

■「TKY2JGD」

「TKY2JGD」は、「日本測地系(Tokyo Datum)」に準拠した座標値を、「世界測地系(JGD2000)」の座標値に座標変 換するプログラムです。

国土地理院ホームページより無償でダウンロードして使用できます。

下記に、「TKY2JGD」のダウンロード、インストール方法と、変換の際に必要な「座標変換パラメータファイル」のダウンロード方法をを紹介します。

詳細等は、国土地理院HP内でご確認願います。

なお、ソフトウェアをダウンロードする場合には、使用許諾書に同意していただく必要があります。

■ダウンロードの方法

①国土地理院HP 便利なプログラム・データを開き、「TKY2JGD」を選択します。
 http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/program.html

The Addition of Control o

②「使用許諾書」に同意します。

③「TKY2JGDダウンロード希望者登録事項」を入力して送信ボタンを押しますと、ダウンロードページが開きます。 ④ダウンロードページから、「TKY2JGD」、「座標変換パラメータファイル」をダウンロードします。



■「TKY2JGD」のインストールの方法

①TKY2JGDxxxx.exeは、自己解凍ファイルです。ダブルクリックするとc:¥Tempに解凍されます。解凍先は変更可能です。

②インストール前に全てのアプリケーション(ウィルスチェッカーを含む)を終了して下さい。

③c:¥Temp¥TKY2JGDvxxxx¥Setup.exeをダブルクリックし、インストールします。

④インストール後, TKY2JGDxxxx.exe、及び、c:¥Temp¥TKY2JGDvxxxx¥フォルダを削除して下さい。

⑤「スタート」→「プログラム」→「Tky2jgd」→「Tky2jgd」により座標変換プログラムを起動することができます。

※既に<mark>他のバージョン</mark>のTKY2JGDがインストールしてある場合は、必ず、それを<mark>アンインストール</mark>してから、インスト ールして下さい。

■「座標変換パラメータファイル」について

①"hokuriku.EXE"をTKY2JGDプログラムをインストールしたフォルダ(例:c:¥Program Files¥Tky2jgd)に移動して下さい。

②"hokuriku.EXE"をダブルクリックすると現在のフォルダ(ディレクトリ)に"北陸.par"が解凍されます。 "hokuriku.EXE"は削除してかまいません。

※"北陸.par"等の座標変換パラメータファイルはどのフォルダにおいてもTKY2JGDプログラムから読み込みことはできますが、上の例のようにTKY2JGDプログラムをインストールしたフォルダにおくことをおすすめします。

「TKY2JGD」を使っての新旧座標変換方法

1. 「MapCall Standard 1.0」でデータをCSVエクスポートします。

①「MapCall Standard 1.0」で座標変換の必要なデータベースファイルを開きます。

②メニューバーより<ファイル>→<エクスポート>を選択して任意の場所にデータをエクスポートします。 CSVファイルで保存されます【ファイル1(.csv)】。

データのエクスポートを終了した後、「MapCall Standard 1.0」はアンインストールして、「MapCall Standard 2.0」をインストールしておきます。

2.【ファイル1】を加工します。

①【ファイル1】をExcelで開きます。

②「MCID」「GEO_X」「GEO_Y」の列(フィールド)すべてを残して他は削除します。

③「GEO_Y」「GEO_X」「MCID」の順に並び替えます。

※「TKY2JGD」は3項目しか取り込むことができません。したがって「経度」「緯度」「ID」の順で保存します。 ※「GEO_X」「GEO_Y」は平面直角座標8系での数値です。「GEO_XX」「GEO_YY」は緯度/経度の数値になります。 緯度/経度でも変換をすることができますが、ここでは平面直角座標8系での方法を提示しております。

___×

閉じる(©)

入力7ァ4ル形 式の説明

TKY2JGD

マル内容の表示

入力値の出力

。 日本測地系から世界測地系への一括変換 1.処理の選択 ○ 緯度・程度 → 緯度・経度

座標系の選択 番号 原点緯度 原点経度

3入力ファイルΦ 支換前の座標値

11 (D) 🔯

④テキスト(スペース区切り)で保存します【ファイル2(.prm)】。

3. 「TKY2JGD」を使って座標を変換します。

①「TKY2JGD」を開きます。

②<一括変換を>選択します。

③く入力ファイル>をクリックして【ファイル2】を選択します。 ④出力先を指定して座標変換します【ファイル3(.out)】。

4. 【ファイル3】を加工して【ファイル1】に結合します。

